

多分野最新研究学

Recent Research in Dental Field

キーワード

- ① 歯学基礎研究
- ② 歯学臨床研究
- ③ 歯学疫学研究
- ④ 歯学社会系研究
- ⑤ 教育学の基礎

授業概要

研究基盤学で学んだ、自立した研究者に求められる基礎的な事項を基盤とし、本科目では歯学研究者として特に必要な各論的共通課題について取り上げる。特に、歯学の基礎・臨床・疫学研究における研究デザインの構成論、歯学教育の概論、およびトランスレーショナルな視点からみた最新の研究紹介などを行う。さらに、歯学臨床に必要な歯科研究の専門的能力の基本を講義し人間力の醸成も図る。これらにより歯学研究の専門的な研究活動能力を身につけ研究応用力を養成することを目的として開講する。

授業科目の学修目標

本科目では、DP2とDP4の身につけるべき能力について、基礎的な事項を教授し、研究者としての基本的な姿勢を身につけることを目的とする。

授業計画

- (榎木恵一 1コマ)
- ① 歯学基礎研究の研究デザインの構成論を講義する。
(岩淵博史 1コマ)
 - ② 歯学臨床研究の研究デザインの構成論を講義する。
(玉置勝司 1コマ)
 - ③ 歯科心身症患者から学んだ歯科医師が知っておかなければいけない精神疾患と患者反応、そこから創成する世界初の『歯科脳科学』の必要性を教授する。
(不島健持 1コマ)
 - ④ 歯学研究の専門家に必要な要件とは何かを講義し、特に倫理的な行動と歯学関連専門職との関係について教授する。
(小牧基浩 1コマ)
 - ⑤ 歯周組織の治癒に関する生物学的な理解と歯周組織再生研究について概説する。
(武藤徳子 1コマ)
 - ⑥ 歯髄生物学基礎研究の最新の解析法や論文を紹介し、世界の最先端の研究と歯学基礎研究の潮流を解説する。
(高橋聡子 1コマ)
 - ⑦ 薬理学基礎研究の最新の解析法や論文を紹介し、世界の最先端の研究と歯学基礎研究の潮流を解説する。
(星 憲幸 1コマ)
 - ⑧ 補綴学臨床研究の最新の解析法や論文を紹介し、世界の最先端の研究と歯学臨床研究の潮流を解説すると同時にトランスレーショナルリサーチとは何かについて考察する。
(森本佳成 1コマ)
 - ⑨ 全身管理学臨床研究の最新の解析法や論文を紹介し、世界の最先端の研究と歯学臨床研究の潮流を解説すると同時にトランスレーショナルリサーチとは何かについて考察する。
(長谷川巖 1コマ)
 - ⑩ 法医学研究の最新の解析法や論文を紹介し、世界の最先端の研究と社会歯学研究の潮流を解説すると同時に、疫学研究から社会に貢献する方策を考察する。
(香西雄介 1コマ)
 - ⑪ 放射線学臨床研究の最新の解析法や論文を紹介し、世界の最先端の研究と歯学臨床研究の潮流を解説すると同時に、疫学研究から社会に貢献する方策を考察する。
(澁田慎也 1コマ)
 - ⑫ 疫学研究の最新情報を紹介し、その潮流を解説するとともに、社会に貢献する方策を考察する。
(大橋 桂 1コマ)
 - ⑬ 理工学基礎研究の最新の解析法や論文を紹介し、世界の最先端の研究と歯学基礎研究の潮流を解説する。
(青山典生 1コマ)
 - ⑭ 歯周医学研究の最新の解析法や論文を紹介し、世界の最先端の研究と歯学臨床研究の潮流を解説すると同時にトランスレーショナルリサーチとは何かについて考察する。
(高橋俊介 1コマ)
 - ⑮ 1～14回の講義を振り返り、総合学習を行う。

教科書および参考書

特に無し

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

毎回の講義を受講し、レポートをその日に作成すること。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 基礎研究のデザインの基本を説明できる。
- ② 臨床研究のデザインの基本を説明できる。
- ③ 疫学研究のデザインの基本を説明できる。
- ④ 歯学教育法の基本を説明できる。
- ⑤ 矯正学の最新の研究内容を説明できる。
- ⑥ 微生物学の最新の研究内容を説明できる。
- ⑦ 光歯科学の最新の研究内容を説明できる。
- ⑧ 理工学の最新の研究内容を説明できる。
- ⑨ 補綴学の最新の研究内容を説明できる。
- ⑩ 歯周病学の最新の研究内容を説明できる。
- ⑪ 全身管理学の最新の研究内容を説明できる。
- ⑫ 法医学の最新の研究内容を説明できる。
- ⑬ 社会歯科学の最新の研究内容を説明できる。
- ⑭ 衛生学の最新の研究内容を説明できる。
- ⑮ 講義のまとめをすることができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポート フォリオ	口頭試問	その他
40%	30%	30%	0%	0%	0%	0%

評価の要点

小テスト(15回×2% : 30%)とレポート(15回×2% : 30%)は、授業終了後、毎回行う。※ビデオ視聴の回は0点
最終第15回にまとめ試験を行う(1回40%)

理想的な達成レベルの目安

基本的な研究学であることから80%を理想的な到達度とする。